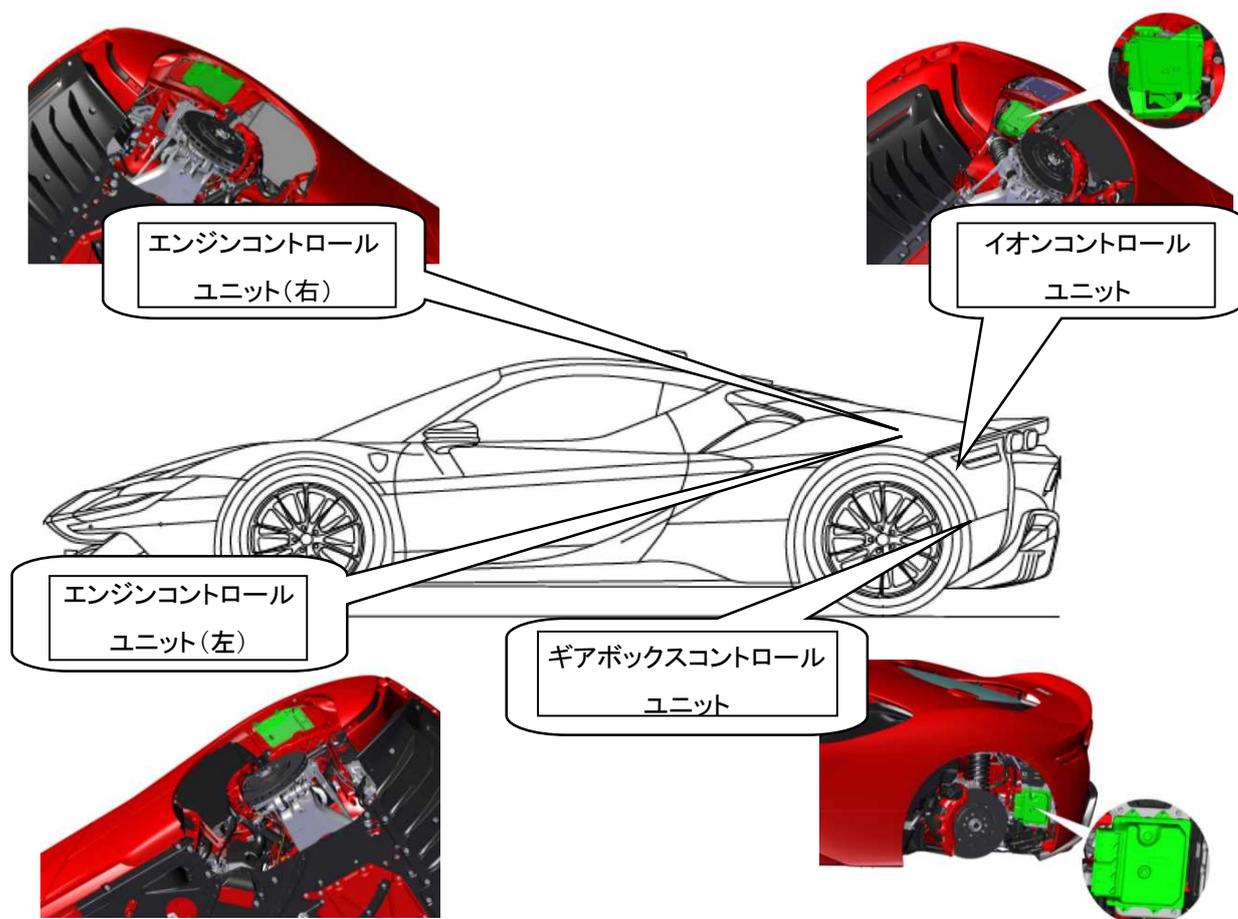


## 改善箇所説明図



### 不具合の内容

エンジン制御装置（ECU）において、排気管の温度をモニターする温度センサーの閾値が、誤って 200℃ に設定されているため、この閾値を超えた場合、チェックエンジンランプが点灯し、エンジン性能の出力を低下させる。

また、停車後、アイドリング状態が続くと 90 秒後にエンジンが停止する。エンジン停止後、エンジンの再始動が出来ず、かつ電動機走行もできなくなるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、エンジン制御装置（ECU）の温度センサーの閾値を変更するため、ソフトウェアを書換える。上記の制御装置に関連するイオン制御装置、ギアボックス制御装置も書換える。

□ はソフトウェアを書き換える部品を示す。

識別：車台番号の上部に識別ペイント（黄色）を塗布する。